

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たち			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数)	11人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		～	2025年 11月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間でのミーティングをこまめにおこない、情報共有や支援内容の確認をおこなっている	毎日、朝のミーティングで、前日の療育の振り返りや情報共有、支援内容についての確認をしたり、アドバイスをしている	支援内容や専門性の質を高めるため、研修やOJTの機会を増やす
2	土曜日活動はSSTの要素を持った内容で、かつ、興味関心を持って楽しく参加できる活動をおこなっている	・季節やその月の行事などを踏まえて担当者が立案し、全職員で検討・確認。移動時間や移動手段、利用する施設があれば活動日のスケジュールなども確認している ・公共機関や施設を利用する際のルールや集団活動に必要なルールを学べるよう意識している ・戸外活動だけでなく、買い物・調理・制作など行っている	こども達が『行きたいところ』『したいこと』などを企画して実行することもおこなっていききたい
3	ペアレントトレーニングをおこなっている	お母様だけではなく、お父様にも参加していただきやすい土曜日におこなっている	ピアトレーニングもおこなっていききたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クラクションや大型トラックの音などがうるさい時がある サイレンが聞こえると、こどもたちが気になってしまう	大通りで交差点近くに事業所があるため	ドアや窓の隙間に防音対策が必要
2	自立支援協議会への参加ができていない	自立支援協議会と直接関わる機会がない	必要に応じて参加していく
3	地域交流の機会がない	療育を『習い事』として通わせておられる利用者もおられることから、積極的な交流をおこなっていない	利用者の要望等があれば検討していく